

ジャンボリー参加感想文（リーダー）

思い出の地 珠洲再び

静岡4隊 隊長 大谷正博(自団 VS 隊長)

第17回 日本ジャンボリー参加にあたり、静岡4隊、スカウト26名、指導者7名、合計33名、一人の怪我もなく、静岡の地へ帰着したことを報告いたします。また、結隊式に始まり、壮行会までの間、地区、団、大会スタッフの皆様には、多くの便宜を図っていただき、誠にありがとうございました。

珠洲は私がボーイ隊の副長になり、ジャンボリーというものをこの目で初めて体験した第14回のジャンボリーの地でした。現地に入った時その当時の記憶が一気に思い起こされたのが感動的でした。また、今回のジャンボリーは、色々な面で初めて尽くしのジャンボリーでした。まずは自団で参加できたこと。小学校6年生から参加できたこと。自団のカブ隊の隊長含め3名のリーダーと、ボーイ隊、ベンチャー隊リーダー7名体制で参加できたこと、内女性リーダーが2名参加してくれた事、最後に私が初めて隊長として参加したことです。私以外はジャンボリー初参加ですが、副長はそれぞれ熱い想いで参加してくれました。

スカウトたちは、緊張はあるものの、最初はいつものキャンプの延長という感じで過ごしておりましたが、自団参加ということもあり、普段のうっぷんやストレスが表面化し、爆発する場面も多々ありました。しかし、長期キャンプや他のスカウトとのふれあい、交流会や様々なプログラム、アリーナでの普段では味わえない体験を通じて、自分というものを見つめ、自分以外の人間と協調して生活することの大切さを、感じるようになってきました。出発前は、一週間は長いと感じていたのが、もう終わってしまうのかという残念さ、まだここに居たいと気持ちに代わっているのが手に取るようにわかりました。ジャンボリーを体験して。個人個人が確実に前に進んだように感じています。帰りのバスでは、地元近づいた時には名残惜しいように、誰がということもなく、皆でジャンボリーの歌を歌っていた姿を見たとき、皆の心が一つになったんだなとジャンボリーのすばらしさを改めて感じさせられました。この気持ちを忘れずに、次のステップに進んでくれるだろうと確信しています。

最後に、我々を支えてくれた、団委員長をはじめ、団委員の皆様、不安の中暖かく送り出してくれた保護者の皆様、また、初めてジャンボリーに参加し、無理難題を言っても私を支えてくれた6名の副長に心より感謝申し上げます。

ありがとう！

そして次は東京で会おうジャンボリー!!

弥栄